

# 「国保広域化」で… 橋下知事と市町村長が『談合』 大阪府への一本化 国保料値上げ?!減免なし?!

**T市長** 府で強いリーダーシップを発揮してぜひ広域で大阪府一本でやっていただきたい。

**橋下知事** 料金は法定外繰り入れをゼロにするという前提で、料金を組めばどうなるか、減免も含めて。

【7・22「談合」での発言より】



橋下知事と府下の市町村長代表が7月22日に協議。国保財政が苦しい市町村代表が、知事に「大阪府一本化」を懇願。知事は「国保広域化」に先立って、大阪府内の国保料を統一するとぶちあげました。

S市長は「府下的に一元化されたらS市民の保険料は高くなると思うが、それはやむをえない。(累積赤字も)基本的には各市町村で解消しようということ」と保険料アップを公言しました。

橋下知事は「...持続可能な制度にするには負担も求めているといけな。これを各市町村バラバラだと厳しいことに。そうであれば僕が前に出るのかは協議をして...」と応じました。自分が決めれば、府民は何でも支持すると言わんばかりです。

## 1世帯2万円アップ?! 減免なくなり、遠のく窓口

統一国保料の最大のねらいは、各市町村が実施している一般会計から国保会計への繰入をなくすこと。「市町村財政を救うため」というふれこみで、府民はさらに高い国保料を強いられます。繰入をなくせば府内の全加入世帯当たり2万円アップの試算も。

もう一つのねらいは、各市町村ごとに条例で決めている減免制度をなくすことです。「国保料が高すぎて払えない」と納付相談をしたくても、市町村の窓口は「うちではできません」。府に相談しようにも「相談はWTCへ」となってしまいます。保険料滞納には「保険証取り上げ」「財産差し押さえ」のペナルティが待っています。

橋下知事は府民のくらしなど眼中にありません。府下の市町村長を味方につけて、「大阪都構想」の実現をもくろんでいます。



## 国の助成カットでピンチ 予算増で値下げを!

民主党政権は今年の国会で国保法を変え、「広域化方針」を打ち出しました。数年後には、国保の保険者を市町村から都道府県に変えようとしています。その理由として、効率化や事務費の削減が言われています。しかし、財政基盤が弱い市町村同士をいくら寄せ集めても、ムリがあります。

国保制度は国庫負担がなければそもそも成り立たず、自治体からの国への要求に応じて実現していった制度です。80年代以降つづく国の助成カットが国保財政をピンチに追い込みました。府下の4割近い世帯が加入する国保を守るのは知事と市長の責任です。橋下知事は国に対して「国保予算増額」の声を上げるべきです。

民商は国保料アップに絶対反対! 値下げを要求します。減免制度を改善し、保険証取り上げをやめるよう求めます。

払えない国保料、保険証がない、差押予告がきた… 今すぐ相談を

0120-22-0000

詳しくはwebで 民商おおさかを検索

# 民商へ

ご質問・お問い合わせは  
**福島民主商工会**

福島区福島 4-2-45

06-6448-1961

MAIL : info@fukushimaminsho.net

http://fukushimaminsho.net

商売に役立つ情報満載! 全国商工新聞(月500円)